



高島和男がゆく

平成30年 3月号

託麻中校区 卒業記念交流会

1月27日、藤崎台球場で開催された託麻中校区卒業記念交流会に参加しました。託麻中校区の4つの小学校の野球部が卒業を前に交流試合をします。日差しはさすものの冷たい空気の中、4校の選手が勢揃いして開会式がスタートしました。私は昨年のドラフトでソフトバンクに入団した大竹耕太郎選手を引き合いに『私たちの地元、身近なところからプロ野球選手が誕生しました。甲子園、プロ野球、大リーグ：高い目標を掲げて取り組んでください。今まで野球ができたのは両親、先生、監督の支えがあったからで感謝の気持ちをお忘れないうちに。6年生は4月から託麻中のユニフォームでプレーすることにになり、それぞれのユニフォームでプレーするのは最後になるので思い出に残る1日にしてください』と話したのでした。これからの子どもたちの活躍が予想される交流会でした。



たばこ友の会



1月26日、日頃からお世話になっている『たばこ友の会』の皆さまを対象に講演をしました。昨年11月に依頼を受けましたが、年末年始もあつてあつという間に当日を迎えました。演題は『これまでの歩みとこれから創造的復興10項目』です。与えられた時間は1時間、私の半生と県議会の役割、復旧・復興の現状について話したのでした。不慣れでお聞き苦しい点もあつたと思いますが何とか役目を果たすことができました。

植木市

2月1日、厳しい寒気が列島を覆う中、熊本に春の訪れを報せる『くまもと春の植木市』の開会式が行われました。今年は河川改修工事も終了して12年ぶりに白川河川敷に会場が戻ってきました。400年以上の歴史を誇る植木市が慣れ親しんだ場所で開催されることを嬉しく思います。3月11日までの開催ですが、90にのぼる事業者の100万点に及ぶ品々が熊本をはじめ多くの来場者に購入され、癒しの空間を演出することでしょう。少しずつ春の足音が聞こえてくるようです。



学校の働き方を考えるシンポジウム



2月12日、熊本テルサで開催された『学校の働き方改革を考える』。将来のくまもとを担う子どもたちのために、市民参加型シンポジウムに参加しました。1部は「不機嫌さんより、ご機嫌さんな学校とは？」と題した谷口真由美氏（大阪国際大准教授）の講演。2部は「学校現場のいま、そして、これから」と題して県PTA連合会長、熊本市教育長、現場の中学校教諭、有識者によるパネルディスカッションでした。中学校教師の約60%が月80時間超の残業という過労死ラインを上回って働いている実態があり、一部では教育現場は『ブラック』とも云われています。先生方が健康で不安のない生活があつてこそ学校で子どもたちに向き合えます。参加して議員として取り組むべきことが何かしら見えた気がしたのでした。

新年会



1月20日は地元、2月2日は地元以外の皆さんを対象にした新年会を開催しました。インフルエンザが流行している最中でしたが、おかげさまで計600人を超える皆さまに会場していただき盛会のうちに終了しました。それぞれ来賓の方々から身に余る言葉も頂戴しました。私は新年会とあつて今の自身の目標、そして目標を実現するために心がけていることを披露したのでした。

